



## 令和 5 年度対エルサルバドル共和国草の根・人間の安全保障無償資金協力

### 「アカフトラ市メタリオ村エル・モラ地区上水道施設整備計画」 引渡し式の開催

2024年8月15日、星野芳隆駐エルサルバドル日本国大使は、西ソンソナテ市クリス・アレマン市長、エル・モラ村落開発協会ウェンディ・レティシア・ヘルナンデス会長及び裨益住民とともに、「アカフトラ市メタリオ村エル・モラ地区上水道施設整備計画」（現・西ソンソナテ市アカフトラ区）の引渡し式に出席しました。



本計画によって設置された上水道施設を介し、対象地区に住む166世帯とクリニック、小学校1校に安全な水が直接届くようになり、400人以上の方々に裨益します。

エル・モラ地区に住む人々の家庭には昔から水がありませんでした。このため、乾季には川や湧水で洗濯や沐浴をし、飲料水としても利用していました。しかし、川や湧水は家の近くにあるわけではなく、洗濯や水汲みには一日2～3時間を費やし、雨季には雨水を利用しました。同地区の人々は長い年月をかけて資金を集め、新たに上水道施設を設置すべく水源となる井戸を掘りました。



本計画に際して在エルサルバドル日本国大使館は、草の根・人間の安全保障無償資金協力により、給水管、配水管網（5km）、貯水タンク（100m<sup>3</sup>）や配水ポンプを設置したほか、井戸及び貯水タンクの敷地に境界柵を整備しました。

アカフトラ市（当時）は、本計画の詳細計画策定費、給水ポンプ設置と電気接続工事に係る施工費、広報費（記念碑と計画看板の作成）を負担しました。

エル・モラ地区に住む裨益住民も非熟練工として工事に参加し、各戸レベルの配水管接続口と水道メーターを設置し、さらに井戸の洗浄や工事に必要な重機の借用費を負担しました。

本計画には総額259,640米ドルが費やされました。



駐エルサルバドル日本国大使  
星野 芳隆

本日は、在エルサルバドル日本国大使館にとって125件目となる飲料水供給案件の引渡し式に出席することができ、大変光栄に思います。本件を以て、累計17万人以上のエルサルバドル国民の方々が、草の根事業を介し、清潔な水を家庭で得ることができるようになりました。

日本は様々な自然災害に見舞われますので、一人の人間が健康で尊厳ある生活をおくるためには飲料水の確保が重要であることを熟知しております。まさしく最近も、日本ではマグニチュード7.1の地震が発生しました。また、台風も日本列島に接近しています。このような種類の自然災害が発生した際、避難者の方々のために真っ先に確保しなければならないのは飲料水です。

本計画の実施全期間をとおり、ご協力いただいた関係者の皆さまのご尽力をたたえ、挨拶とさせていただきます。



西ソンソナテ市長  
クリス・アレマン

エル・モラ地区の皆さまと、外国へ移住した友人・家族の努力が実り、上水道施設が整備されたことに、私自身喜びで胸一杯です。エル・モラ地区は、本計画をとおり、関係者の団結こそが物事を推し進める原動力であることを証明しました。

我々は行政の立場から、コミュニティ支援を行う日本のような友好国と協力関係を築いていかなければならないと考えます。

エル・モラ地区の皆さまの努力をたたえと共に、本計画にご協力いただいた日本大使館に感謝申し上げます



エル・モラ村落開発協会会長  
ウェンディ・レティシア・  
エルナンデス

本日の引渡し式は、我々住民のチーム・ワークと努力が結実し、外国に移住した友人や親族を含めたすべての関係者が長年みてきた夢が実現した特別な日になります。本計画を以て、我々の生活の質は大きく改善されることになります。

日本政府からのご支援に対し、心から感謝申し上げます。日本の皆さまからいただいた協力は、財政面に留まらず、連帯感と友情の証であり、人生をも変革する人道支援であると考えます。本計画を実現するための我々の決意に耳を傾け、我々を信じて本計画に協力してくださった日本の皆さまに心から感謝致します。

